



啓翁桜

最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2021年2月号
山形県最上総合支庁



最上小国川写真コンテスト 入賞作品決定!

[連携支援室 29-1240]

1月14日、最上小国川清流未来振興機構が主催する「最上小国川写真コンテスト」の審査委員会が舟形町中央公民館で行われました。本年度で第5回となったコンテストでは、県内外33名の方から、計86点のご応募をいただきました。

その中から最優秀賞に選ばれたのは、若鮎が最上小国川を跳ねる瞬間を見事に捉え、最上小国川の素晴らしい魅力を未来に伝えたい気持ちが伝わる、佐竹吉廣さんの『遡上するアユ』です。

最優秀賞と優秀賞に選ばれた方には、2月9日に開催される表彰式で賞状等が授与されます。今回は、最優

秀賞及び優秀賞の4作品をご紹介します。今後こうした活動を通して、最上小国川を未来に伝える取組みを進めてまいります。



●最優秀賞：『遡上するアユ』佐竹吉廣さん（寒河江市）



優秀賞：『清流小国川』
戸塚喜八さん（新庄市）



優秀賞：『鮎つり銀座』
鈴木貞治さん（天童市）



優秀賞：『静寂』
片見信廣さん（新庄市）

しごとトーク～若手社員のリアルなおはなし～ @新庄神室産業高校真室川校

[地域産業経済課 29-1309]

1月22日、新庄神室産業高校真室川校の1・2年生が、地元の様々な職場で働く若手社員の方から仕事のやりがいや新庄・最上での暮らしのことなどをお聞きする特別授業を開催しました。

ご協力いただいたのは、いずれも真室川町出身の、山形航空電子㈱の荒木美瑞樹さん、マルコウ自動車整備工場の斎藤光樹さん、真室川町教育委員会の横瀬健吾さんです。皆さんお手製の“紙芝居”を使いながら、仕事のやりがい、地元就職を選んだ理由や大人になって改めて感じる地元の良さなどについて、楽しく・わかりやすくお話しくださいました。

生徒からは、「仕事を覚えるのにどのくらいかかるか」「一番大変だったことは」「コミュニケーション力をつけるにはどうしたらよいか」といった質問が次々出ていました。

センパイ方の仕事に対する想いや実際の暮らしぶりを聞き、自分の将来や進路について深く考える機会になったようです。



めざせ、医療・介護のしごと！

[保健企画課 29-1257]

地域の小中学生に医療職・介護職に関心を持ってもらうきっかけづくりのため、「進路を考える学習会～めざせ医療のしごと～」と題し、1月19日に舟形小学校で看護師・作業療法士・介護福祉士体験を、1月27日に鮭川小学校で医師・看護師体験を行いました。

児童から事前に受け取った質問をもとに、仕事選びのきっかけや仕事内容・やりがいなどについて、医療に従事する講師から説明いただいたあと、それぞれの仕事を体験しました。参加した児童からは「将来の夢のひとつとしてやってみたいと思いました」「まだ進路が決まっていないので医療関係も考えてみます」という感想が聞かれ、医療・介護の仕事に興味を持った児童もいるようでした。

この学習会は管内小中学校を対象に開催しており、今年度残り7回の実施を予定しています。県は、最上地域の医療人材・介護人材の確保に取り組んでまいります。



舟形小学校



鮭川小学校

素敵な大人になるために

[子ども家庭支援課 29-1361]

1月12日、新庄市の県立農林大学校全校生徒を対象に、妊娠や出産に関する「若者のためのセルフケアセミナー」を開催しました。県立新庄病院の西塚亜希子助産師を講師に迎え、「素敵な大人になるために～今できるセルフケア～」と題した講演は、クイズや赤ちゃんの産声の音声、YouTubeの映像等が効果的に使用され、参加した102名の生徒は集中して聴講していました。

県子育て若者応援子ども家庭課では、将来のライフプランを考える際に知ってほしい内容をまとめた「男女ともに考えてみませんか～妊娠・出産のこと～」のリーフレットを作成し、HPに掲載しています。自分の将来について考えるきっかけに、ぜひご覧ください。



リーフレットのダウンロードはこちらから



[高校生向け]

https://www.pref.yamagata.jp/documents/2587/danjo_yellow.pdf



[20歳前後向け]

https://www.pref.yamagata.jp/documents/2587/danjo_pink_.pdf



[高校生向け]



[20歳前後向け]

大盛況！おいしい適塩ランチ第3弾

[地域保健福祉課 29-1267]

適塩ランチ第3弾もお陰様で盛況のうちに完売しました！職員以外に一般のお客さまも多数来店され、「適塩」の味を実体験していただくことができました。

鶏唐揚げのチリソースが一番人気でしたが、冬野菜の具たくさん粕汁も好評で、「家庭でも甘みそを試してみたい」との声もありました。約9割の方が美味しかったと評価しており、少しずつ日常の食生活に適塩が浸透していくことを期待しています。

アンケートでは「飲食店でも日頃から適塩にしてほしい」「もっと飲食店へ広がってほしい」などの意見もあり、今後は飲食店へ拡大して提供できるようにしていきたいと思えます。

来年度も年4回実施予定です。今後も健康づくりのため、幸せを呼ぶ😊「おいしい適塩ランチ」の応援をよろしく願います！



【今回のメニューの適塩調理ポイント】

<https://www.pref.yamagata.jp/documents/4623/tekienlunchpart3point-kondate.pdf>



雪の事故に注意しよう!

[防災安全室 29-1209]

1月18日、新庄市内のホームセンターにおいて、雪害事故防止の街頭啓発活動を実施しました。今年の冬は例年比ベ積雪が多く、除雪や雪下ろし中の事故が多数発生しています。

今冬の雪害事故は、転落、転倒、落雪、除雪機の順で多く発生しており、特に**転落や落雪による事故**が死亡等の重大事故につながっています。雪下ろし中の事故では、ヘルメットや命綱を着用せず転落しているケースが多くなっています。

除雪や雪下ろしは、ヘルメット・命綱を着用する、足元や周囲の状況をよく確認する、近所の人に声かけするなど、安全対策を徹底して作業を行いましょう。また、高齢者の雪害事故が増えています。除雪や雪下ろしは、**二人以上で無理のない作業**を心掛けましょう。



雪下ろし作業8つのポイント

- ① 気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意!
(暖かい日の午後は特に)
- ② **ヘルメット**を着用し安全な服装で作業しましょう!
- ③ 転落防止のため**命綱**を使いましょう!
(正しく使用しないと危険)
- ④ **はしごはしっかり固定**しましょう!
(昇り降りには特に注意が必要)
- ⑤ 使いやすい除雪道具を使いましょう!
(アルミ製スコップ等)
- ⑥ **2人以上**で作業しましょう!(携帯電話も持ちましょう)
- ⑦ **無理な作業はやめ**ましょう!(十分に休憩をとりながら)
- ⑧ **足場はいつも注意!**(軒先は危険です。足場は慎重に)

良い例



悪い例



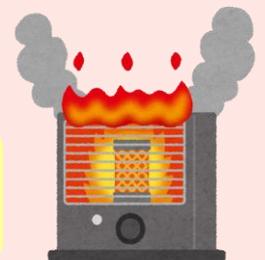
暖房器具の取扱いに注意しよう!

[防災安全室 29-1244]

冬の時期は石油ストーブなどの暖房器具を使うことが多くなる季節です。冬場には欠かせない暖房器具ですが、使い方を誤ると建物火災や一酸化炭素中毒などの重大な事故を引き起こす原因になります。

以下の注意点をしっかり確認し、事故の防止に努めましょう。

- 換気を定期的に行う
- 点火したままで移動・給油しない
- カーテンやふすまなどの燃えやすい物から離して使う
- スプレー缶・アルコール消毒液などを近くに置かない



油漏れに注意しよう!

[環境課 29-1287]

12月号でもお知らせしましたが、冬は暖房器具の使用に伴って灯油などが側溝や河川に流出する事故が増える傾向にあります。原因の多くがホームタンク関連の事故で、今シーズンは人為的なミスのほか、**落雪等による漏洩事故**が多くなっています。給油時は目を離さない、配管や周囲の点検・確認を行うなどして油流出事故を防ぎましょう。

油臭・油膜を発見した場合はすぐに消防や警察に連絡を!

■その場を離れない!!



■思わぬ落雪に注意!!



最上・金山森林ノミクス推進協議会と最上地域林業振興協議会が主催し、「木造建築に精通した建築士の提案（事例紹介）による地域材の利用拡大」をテーマとした第3回森の恵みでつくる建築セミナーが、1月22日に新庄市の雪の里情報館で開催されました。今回のセミナーでは、(株)アルセッド建築研究所一級建築士 粉井玲氏から屋久島で取り組んだ地域材を活用する体制づくり、(株)計画・環境建築代表取締役会長 杉本洋文氏からは「最上・金山杉等の地域材」を首都圏等で利用拡大する手法と小田原市の地域材活用の仕組みづくり、(株)ヤマムラ取締役 中村出氏からは新庄市の旧蚕糸試験場の耐震補強や内装材の木材利用などについて学ぶことができました。YouTubeでのライブ配信でしたが、多くの方からご視聴いただき、地域材の利用拡大に向けて考える機会となりました。



[第1回～第3回のセミナーはこちらからご覧いただけます]

森の恵みでつくる建築セミナーHP <http://mkmorinomix.wixsite.com/seminar>



・ information ・



■省エネ「川柳・標語」「ポスター」コンテスト

優秀作品の巡回展

「夏の省エネ県民運動」の際に募集した、省エネに関する川柳や標語、ポスターの優秀作品のほか、市町村で実施している同様のコンクールの優秀作品も展示します。省エネ等のアイデアが盛り込まれている作品もあり、参考になりますので、ぜひご覧ください。

- 期間 2月1日（月）～12日（金）
- 場所 最上総合支庁1Fロビー

[環境課 29-1284]

■「北方領土パネル展」

2月7日は北方領土の日、2月は「北方領土返還運動全国強調月間」です。この機会にぜひご覧ください。

- 期間 2月22日（月）～26日（金）
- 場所 最上総合支庁1階ロビー

□署名台を設置しますので、署名の御協力よろしくお願いたします。



[総務課 29-1360]

■愛玩鳥を飼われている方へ

愛玩鳥のうち、鶏、あひる（アイガモ、フランス鴨を含む）、うずら、きじ、ほろほろ鳥、だちょう、七面鳥を1羽でも飼育されている方は、お名前、住所、電話番号、鳥の種類、羽数などについて、知事への定期報告が必要です。

今まで報告したことのない方は、ご連絡ください。



問合せ先 家畜保健衛生課
0233-29-1357



▶発行日：令和3年2月1日

▶発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

▶電話：0233-29-1360 ▶FAX：0233-23-2605



Twitter

@shinjo_mogami



HP



新型コロナウイルス感染症

現在、注意・警戒レベルは

「レベル4(特別警戒)」継続中です

国内の新規感染者数は若干減少の兆しはあるものの、高止まりの状況が続いています。県内でも連日感染者の発生が報告されており、クラスター（集団）発生も確認されています。2月は受験等で県外への往來の機会も増えることから、引き続き以下のことに気をつけましょう。

① 基本的な感染防止対策を徹底しましょう

感染リスクが常に身の回りにあるという意識を持っていただき、マスクの正しい着用、こまめな手洗い、消毒、適切な換気、身体的距離の確保など、基本的な感染防止対策である「新しい生活様式」を実践しましょう。

② 体調が悪い場合の対応について

発熱などの症状があるときは、ご自身の健康はもとより、周囲の方の健康を守るために外出を控え、かかりつけの医療機関や市町村相談窓口、または山形県受診相談センター（フリーダイヤル 24 時間）に電話でご相談ください。

職場で体調がすぐれない方には、早期の受診を促していただくようお願いします。

③ 県外への移動について

受験や仕事などで県外へ移動する場合、特に感染が拡大している地域との往來は慎重にし、帰宅後は念のため2週間健康観察をしましょう。帰省などの移動も出来る限り慎重をお願いします。

④ 会食について

食事をする場合は、「普段一緒にいる人と」「少人数・短時間で」「会話の際のマスク着用」「業種別の感染拡大予防ガイドラインを遵守している飲食店の利用」など感染リスクを下げる対策の徹底をお願いします。また、飲酒を伴うカラオケは控えましょう。

感染拡大を抑え、みなさんご自身を守るため、そして大切な人を守るため、引き続きご協力をお願いします。

『「コロナ差別ノー！宣言」県民運動(あったかハートリレープロジェクト)』

県では、コロナ禍にあっても安心して暮らすことができる地域社会づくりを進めていくことを目的として、新型コロナウイルス感染者等への差別は行わない決意を表明するとともに、医療従事者や福祉サービス従事者などに感謝の思いを伝える「コロナ差別ノー！宣言」に多くの県民の皆様が賛同し、実践していただく県民運動を推進しております。

また、この取組みと併せて、暖色系のハートを「あったかハート」として、この県民運動のシンボルに位置づけ、活動の輪を広げ、つなげていく「あったかハートリレープロジェクト」を展開しております。

◆詳しくは下記県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.yamagata.jp/090014/kenfuku/fukushi/chiikifukushisuishin/koronasabetsu.html>



【最上地域にお住まいのみなさまへ】

受診の際には必ず
電話での相談を
お願いします。

発熱などの症状がある場合の 受診についてのお願い



インフルエンザが流行するこの時期、発熱や体調不良
(咳、のどの痛み、頭痛等)がある方は、

受診する前に、必ず電話でご相談ください。

診療・検査が可能な医療機関等をご案内します。
(できるだけ平日の日中の相談にご協力ください。)

かかりつけ※の先生がいる方
※定期的に通院している医療機関

・かかりつけの先生がいない方
・かかりつけ医が休診のとき

かかりつけ医

【対応時間】診療時間内

新型コロナについてわからない
ことや不安、予防方法等は以下の
番号にご相談ください。

山形県一般相談センター
(0120-567383)
(フリーダイヤル)

【相談時間】(毎日)
午前8時30分～午後6時



市町村相談窓口

各市町村窓口にご相談ください

【相談時間】(平日)午前8時30分～午後5時
(※～午後5時15分)

市町村相談窓口	電話番号
新庄市 健康課 ※	29-5790 29-5791
金山町 健康福祉課	52-2111
最上町 健康福祉課	43-3117
舟形町 健康福祉課	32-0810
真室川町 福祉課 ※	62-3436
大蔵村 健康福祉課	75-2111(内271、272)
鮭川村 健康福祉課 ※	55-2111
戸沢村 健康福祉課	72-2364(内151)

山形県受診相談センター
(0120-880006) (フリーダイヤル 24時間)



最上保健所【相談時間】
(29-1268) 午前8時30分～午後5時15分

